






週間市場レポート (2020年1月13日~1月17日)

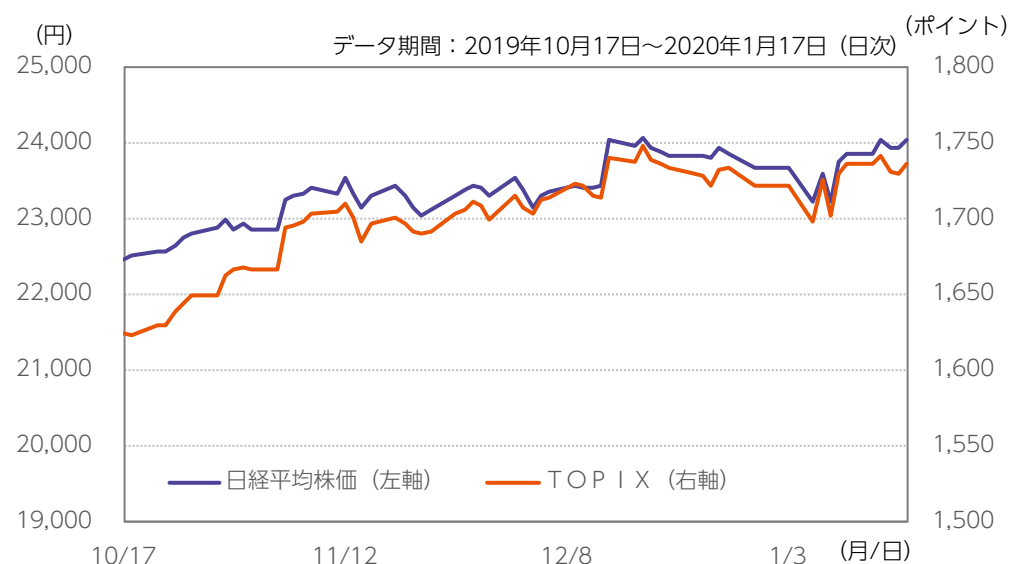
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/1/10	先週末 2020/1/17	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		23,850.57	24,041.26	0.80 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,735.16	1,735.44	0.02 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		28,823.77	29,348.10	1.82 ↗
S & P500種指数		3,265.35	3,329.62	1.97 ↗
ユーロ・ストックス50指数		3,789.52	3,808.26	0.49 ↗
S & P/ASX300指数		6,887.08	7,021.33	1.95 ↗
上海総合指数		3,092.29	3,075.50	▲ 0.54 ↘
MSCI AC アジア (除く日本)※		862.11	874.03	1.38 ↗
東証REIT指数		2,133.12	2,157.72	1.15 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		775.37	795.18	2.55 ↗
ASX300 REIT 指数		1,608.30	1,651.30	2.67 ↗
グローバルREIT (除く日本)※		197.33	202.57	2.65 ↗
日本10年国債 (%)		0.00	0.00	0.00 ↗
米国10年国債 (%)		1.82	1.82	0.00 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.20	▲ 0.22	▲ 0.02 ↘
英国10年国債 (%)		0.77	0.63	▲ 0.14 ↘
ドル/円		109.45	110.14	0.63 ↗
ユーロ/円		121.65	122.19	0.44 ↗
英ポンド/円		143.04	143.37	0.23 ↗
豪ドル/円		75.54	75.75	0.28 ↗
フィラデルフィア半導体指数		1,866.35	1,916.62	2.69 ↗
WTI原油先物 (ドル)		59.04	58.54	▲ 0.85 ↘
CRB指数		184.13	182.89	▲ 0.68 ↘
アレリアンMLP指数		1,166.39	1,182.59	1.39 ↗

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅な上昇となりました。週初は米中貿易協議の進展や円安の進行を受けて、日本株式は買いが優勢となりました。15日に米中が「第一段階の通商合意」に署名したものの、材料出尽くし感から一旦下落しました。週末には堅調な米国経済指標を受けた米株高を好感して、買われる展開となり、24,000円台での引けとなりました。



≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比ほぼ横ばいとなりました。世界景気の先行き不安解消を背景とした投資家のリスク選好姿勢の強まりによる株高や円安を受けて、売りが優勢（利回りは上昇）となったものの、利回りがプラス圏になると投資家からの買いも入り、0%近辺での小動きとなりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

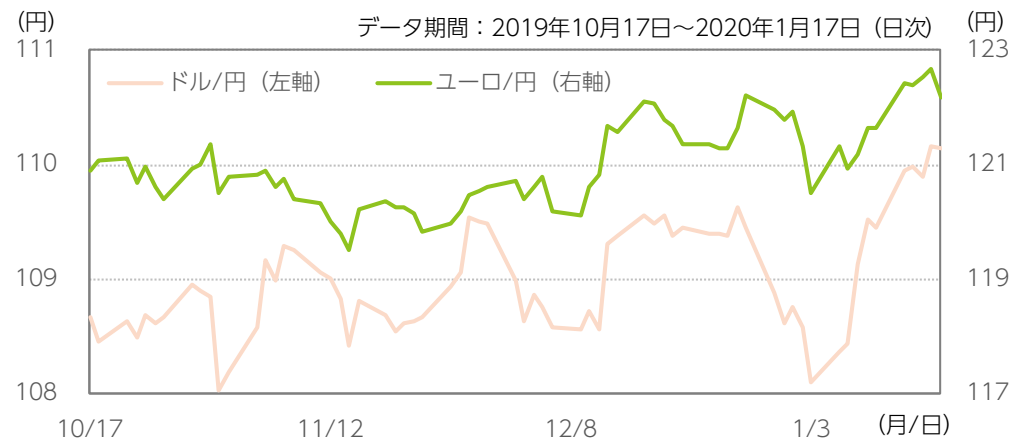
米国株式市場（NYダウ）は前週末比で上昇しました。米中が「第一段階の通商合意」に署名したことや小売売上高等の堅調な指標を受けて、市場では米国景気に対する強気な見方が優勢となり、米国株式は5日続伸し史上最高値を更新しての引けとなりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。米中貿易協議の進展からリスク選好姿勢が強まったことを受けて、円売り米ドル買いが優勢となり2019年5月以来およそ8カ月ぶりに米ドル/円は110円台を回復しました。



5) 今週の見通しについて

今週の株式市場は先週までの流れを引き継ぎ、堅調な展開となるものと思われます。先週の堅調な米国経済指標を受けて、米国景気の先行きに対する楽観が強まっていることから、今週より本格化する米国の2019年10～12月期の企業決算に注目が集まりそうです。日銀、ECB（欧州中央銀行）の金融政策決定会合が開催されるものの、ともに金融政策の変更は予想されず、市場への影響は小さいものと思われます。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>